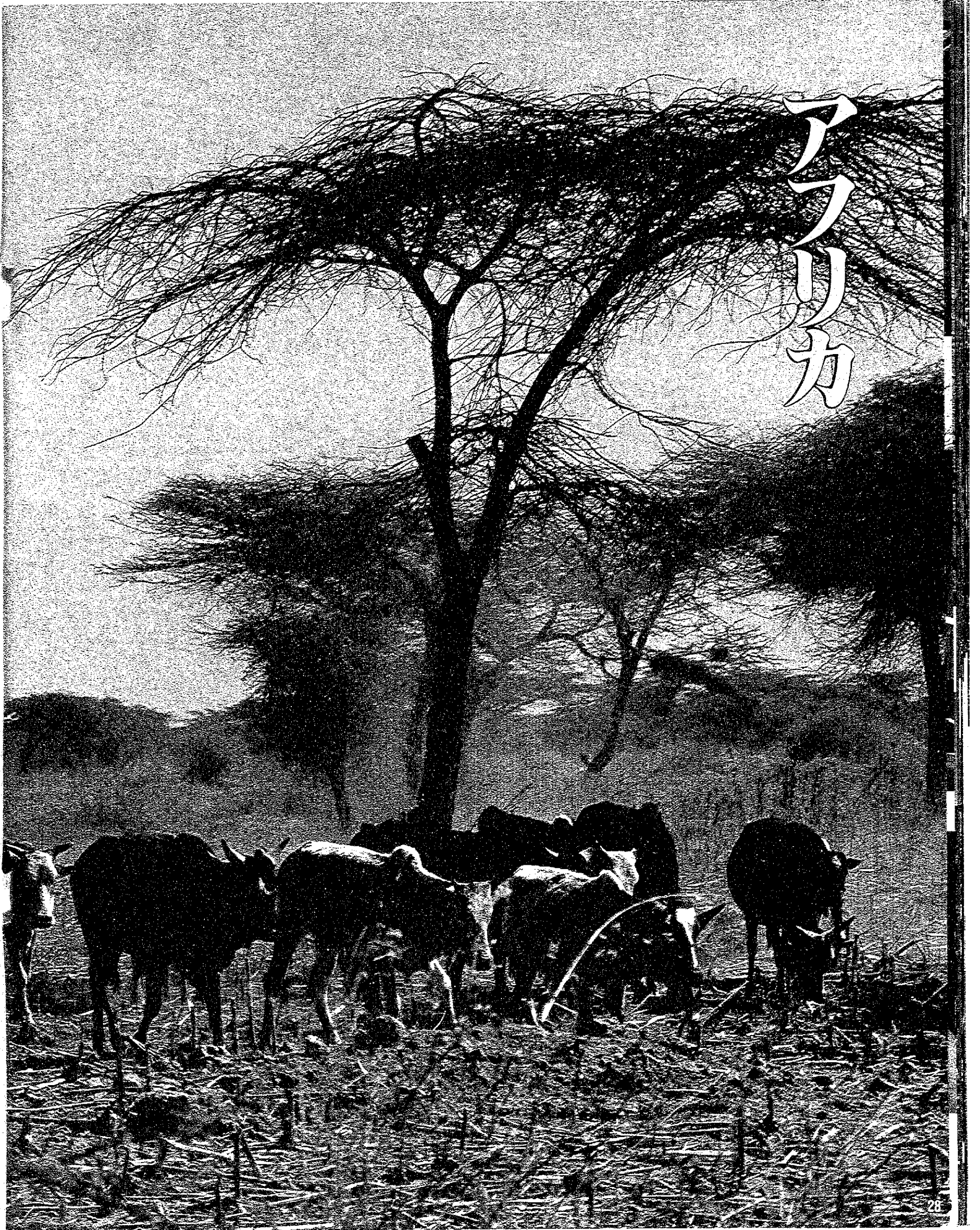
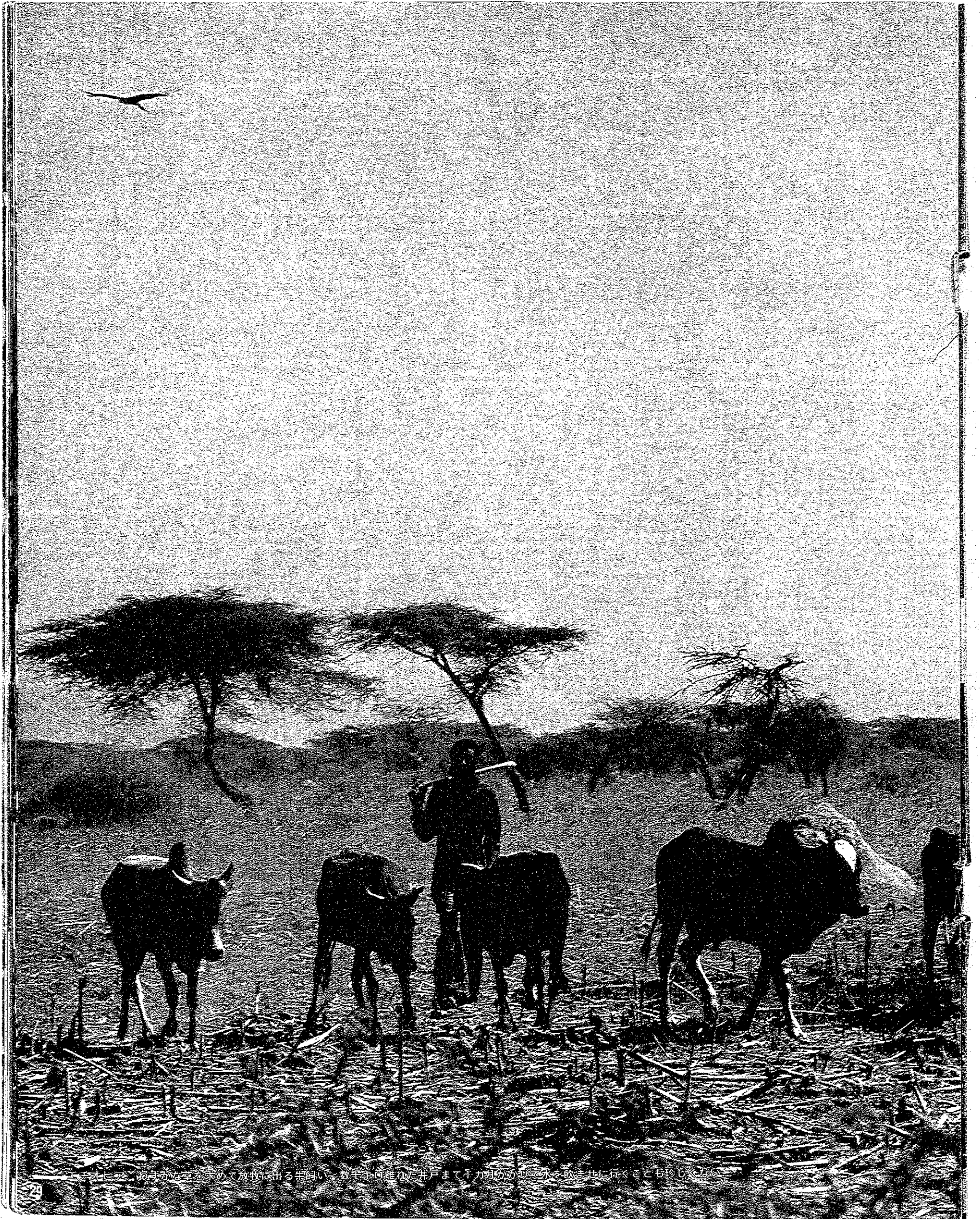
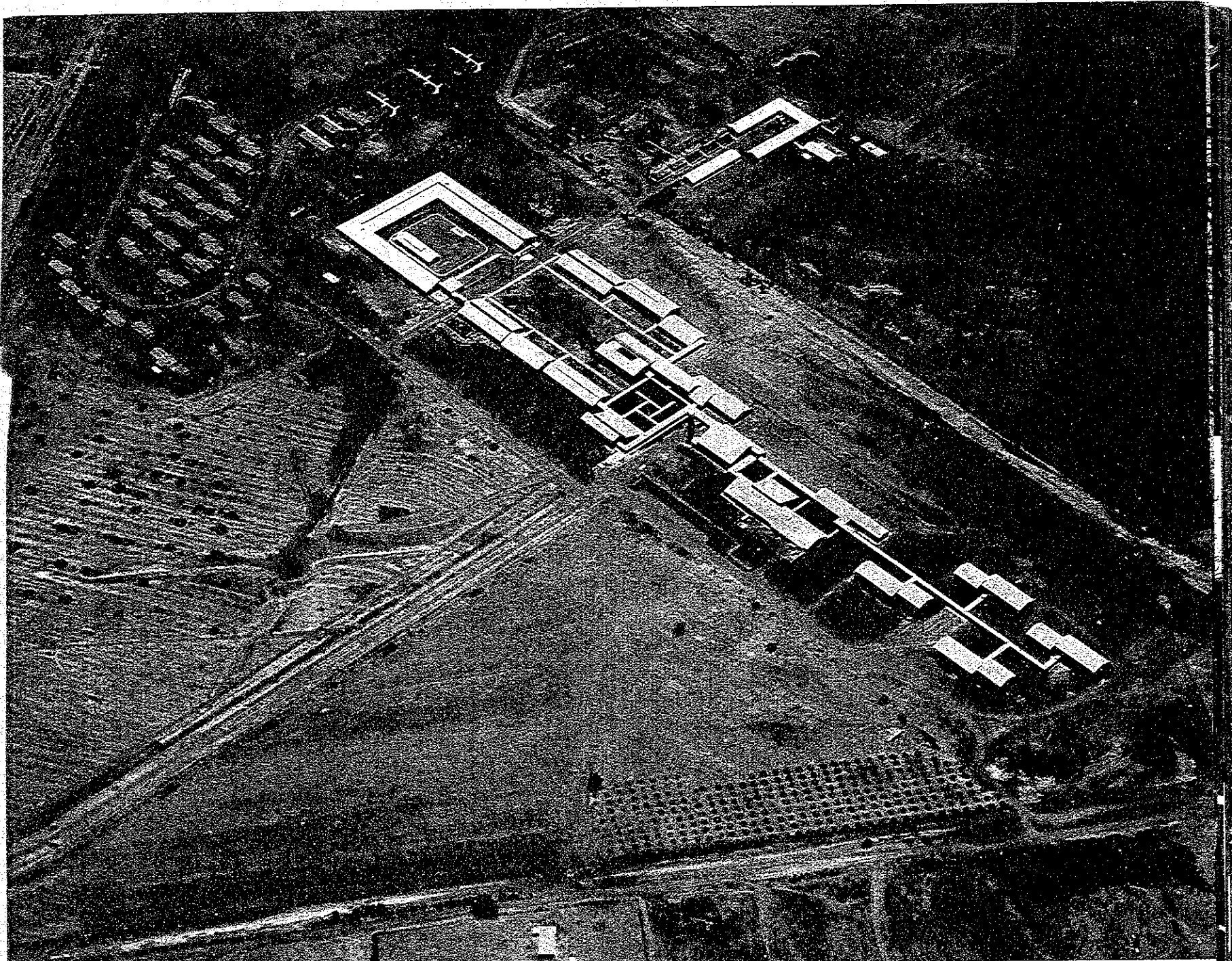


アフリカ





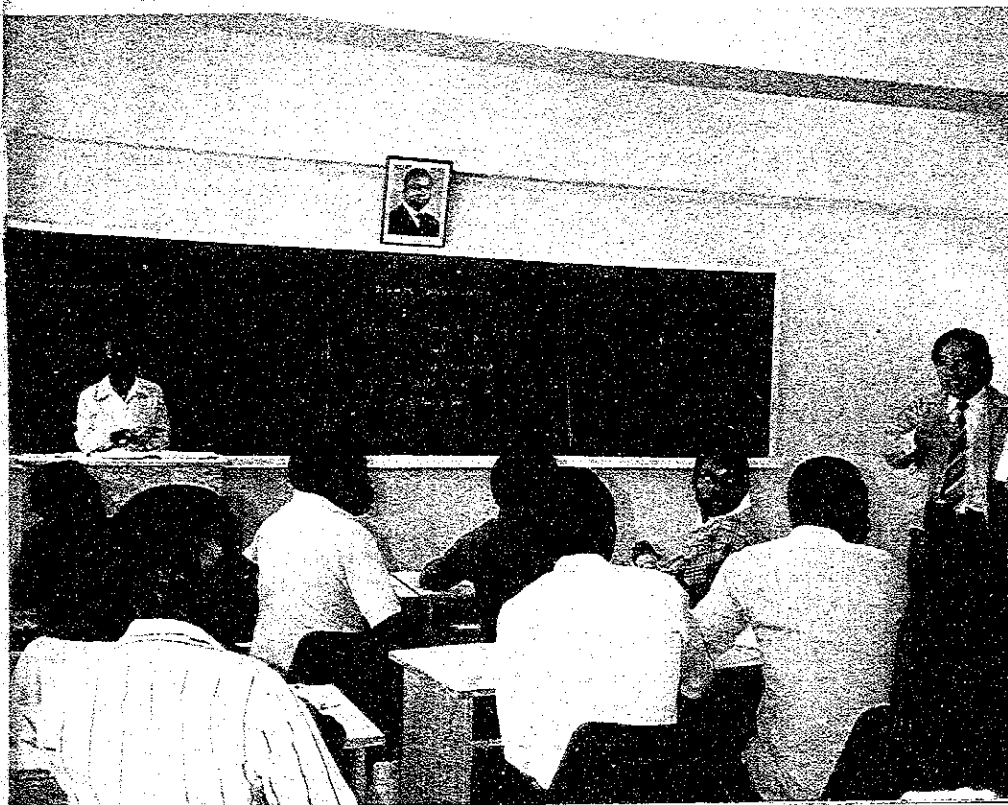
シエラ・レオンの東部を求めて放牧に出る畜飼。牛車回りの井戸まで1カ月がかりの水を飲み世に行くとともに、



(プロジェクト方式技術協力・無償資金協力・青年海外協力隊)

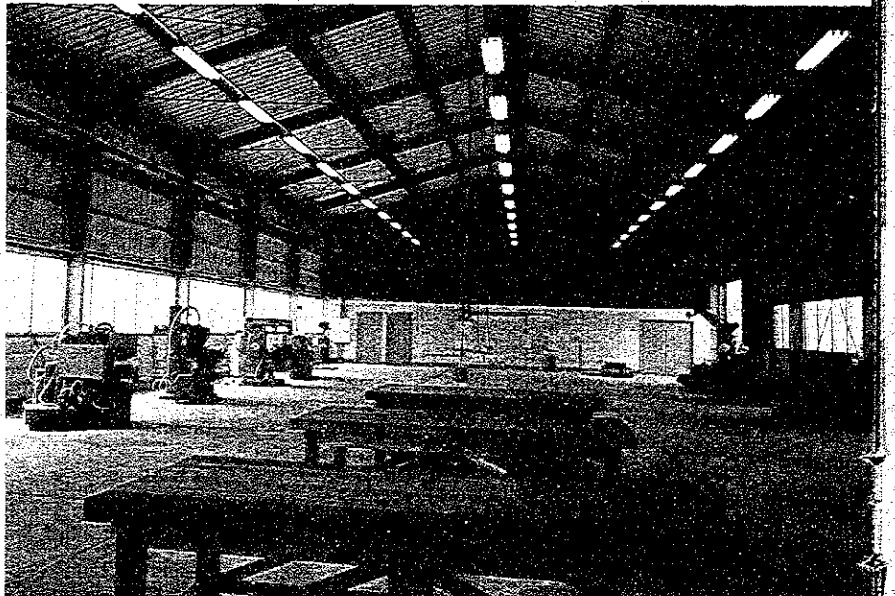
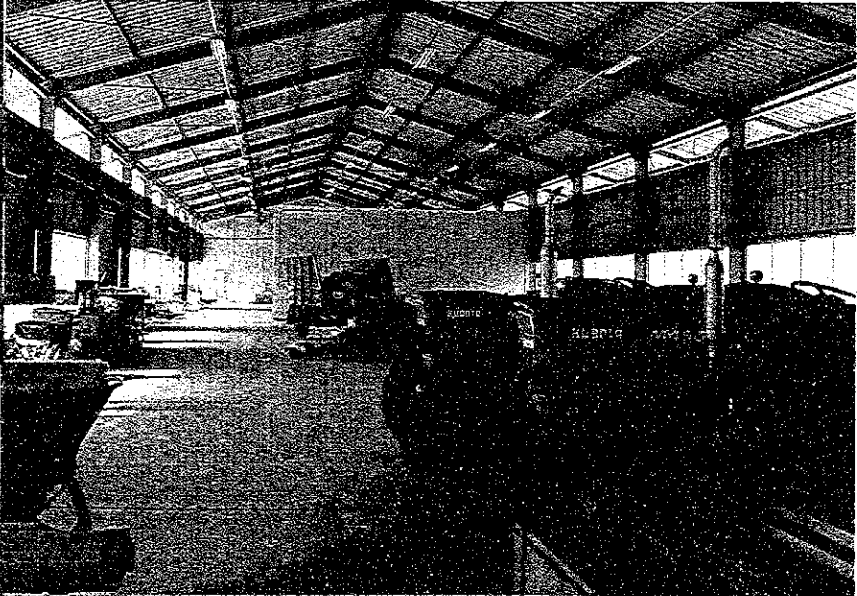
ケニア・ジョモ・ケニヤッタ農工大学／農学部と工学部からなる大学で、将来のこの国の開発を担う中堅技術者の育成を目指している。わが国は無償資金協力で建物の建設および施設の整備をし、あわせて技術協力を行っている。植物分類学の講義の指導をする専門家(右)

機械科の指導をする青年海外協力隊員



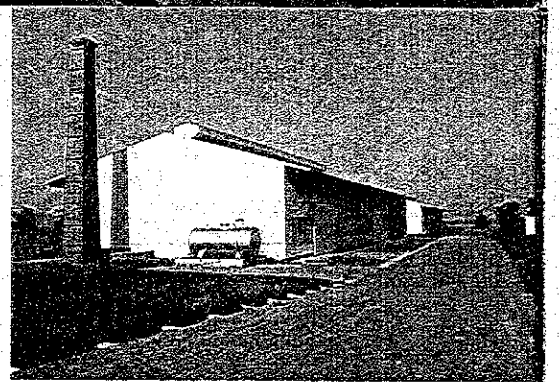
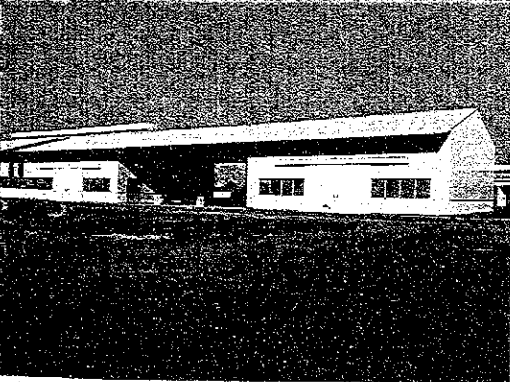


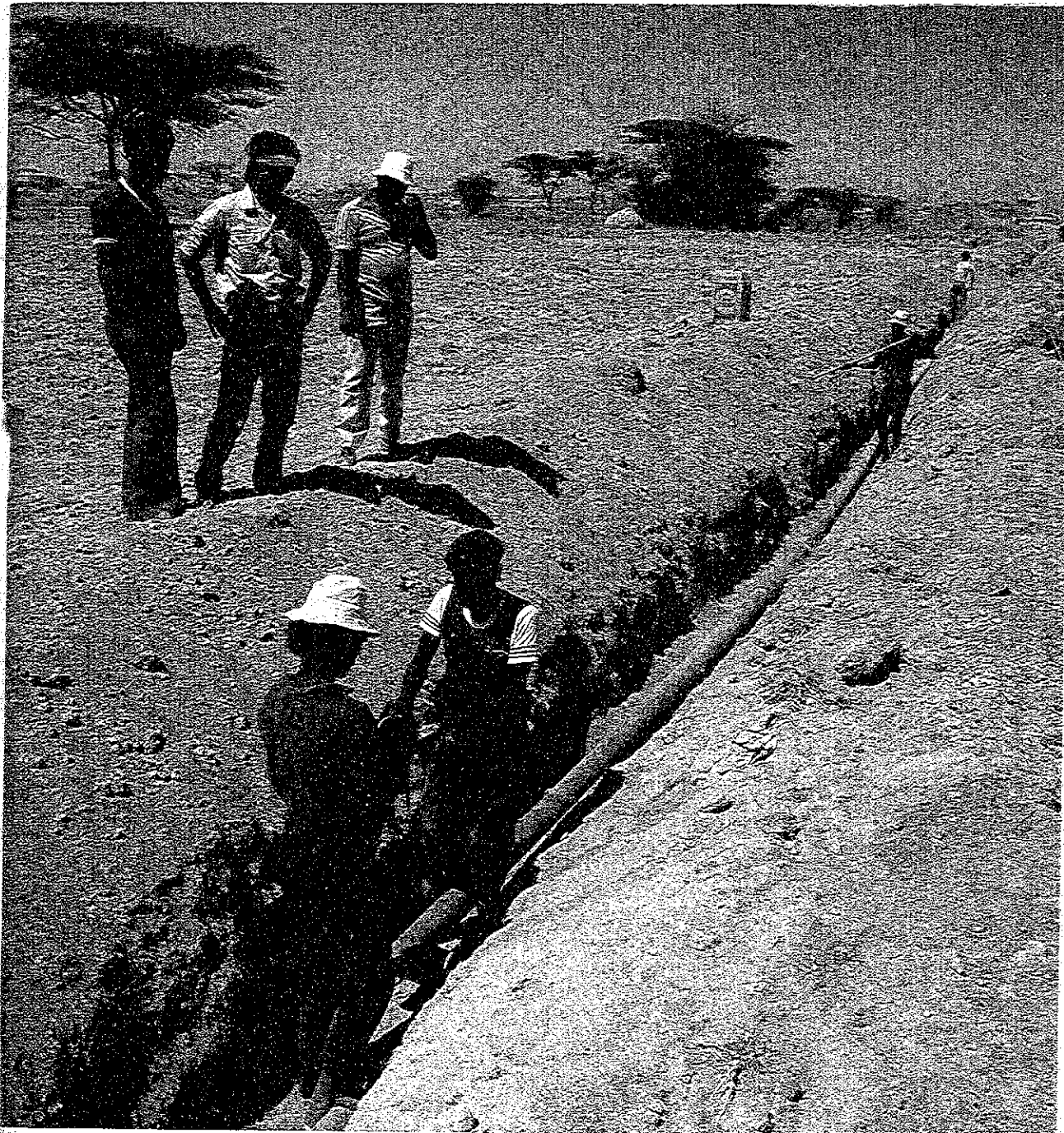
ケニア/キリマンジャロ山麓にひろがるアンボスリ動物保護区。



(プロジェクト方式技術協力・無償資金協力)

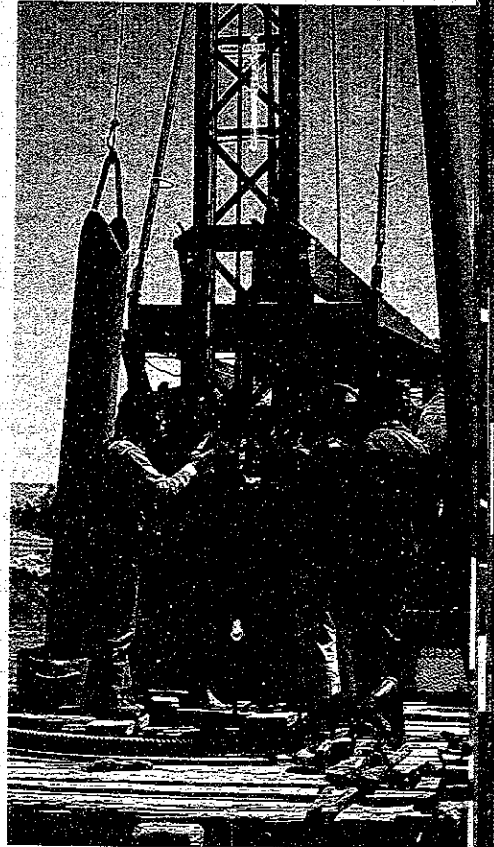
タンザニア・キリマンジャロ州中小工業開発・農業開発センター計画／キリマンジャロ総合開発計画の一環として工業開発センター(右)、農業開発センター(左)の施設を無償資金協力で整備するとともに、指導教官等への技術協力を行っている。





破壊化がひろがり、常に干ばつの被害に苦しむアフリカ。乾燥地帯で人間が生活していくには、いかに水を得るかがすべてに優先する。わが国は水を求めるアフリカ諸国の切実な協力要請に応じて、地下水開発の調査と技術協力、無償資金協力を行っている。エチオピアでは青年海外協力隊員が井戸掘りに活躍し、マリでは遊牧民と牧畜の水の確保のため地下水開発計画が実施され、またセネガルでは、農村地域住民の生活用水確保のため地方水道計画が進められている。

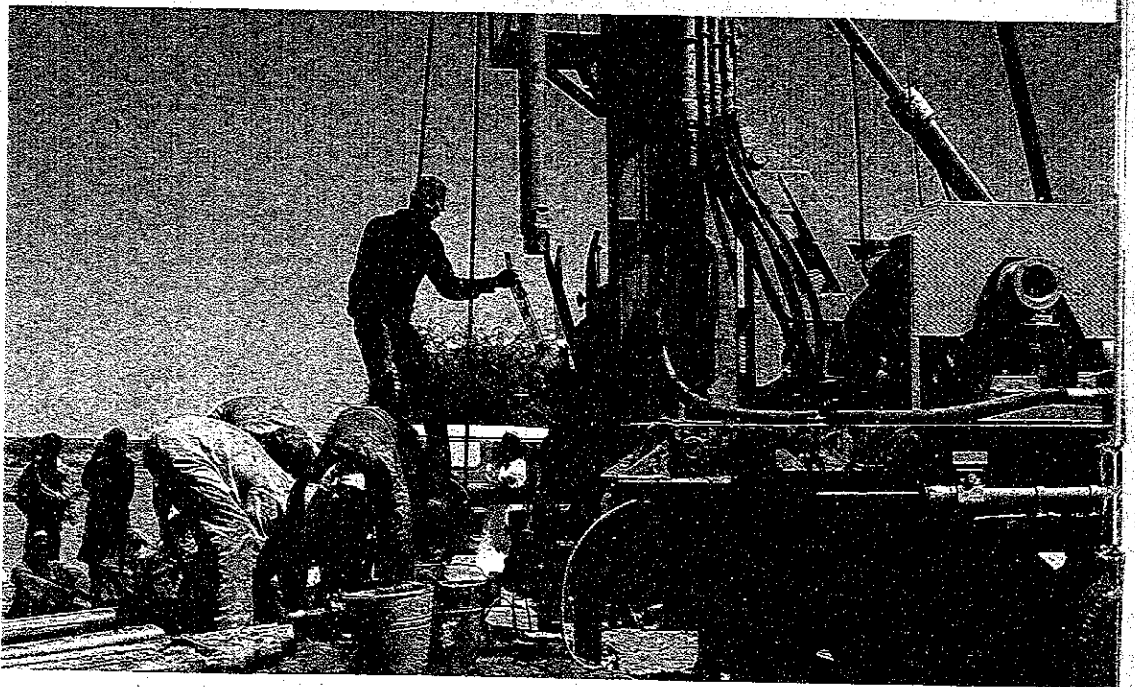
(青年海外協力隊)エチオピア/土木技術の指導をする青年海外協力隊員。水道のない村に水をひく。計画から実行まで3代の隊員によって受け継がれた計画がやっと実を結びつつある。



(青年海外協力隊)
エチオピア/井戸掘りの指導をする青年海外協力隊員。水を求めて100メートルから200メートルの深い井戸を掘る。



ニジェール川



(開発調査・無償資金協力)
マリ・地下水開発計画／井戸の掘削作業

我が国の援助で掘削されたボーリング井戸と遊牧民によるマリ古来の手振り井戸を結ぶ作業



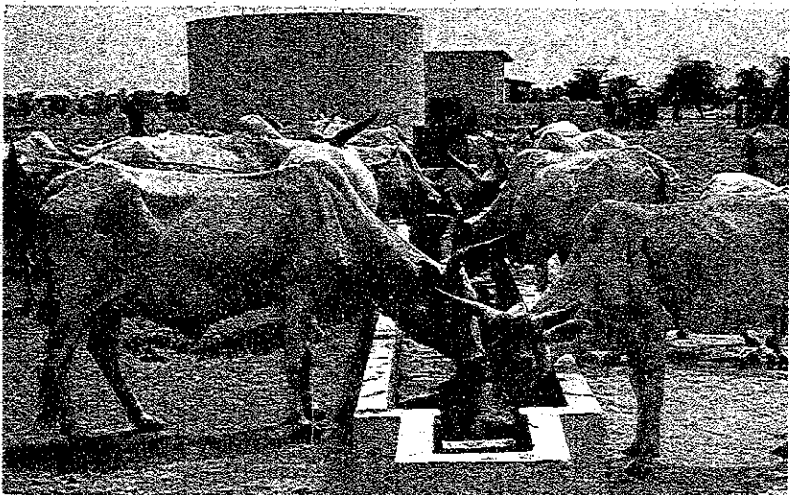


(青年海外協力隊)セネガル/野菜栽培の青年海外協力隊員。

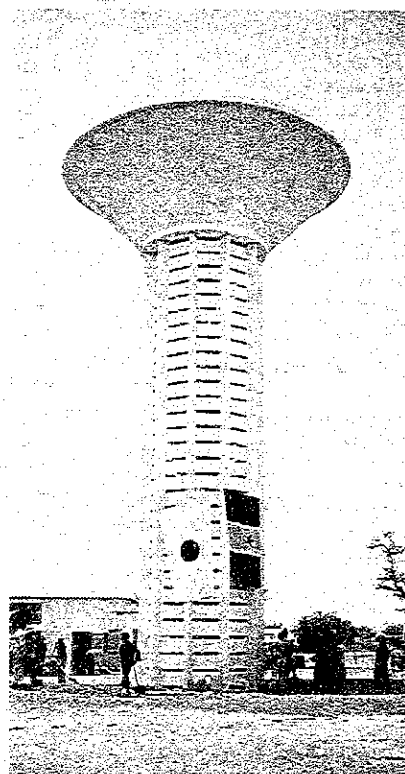


セネガル/水くみは女、子供の仕事。村に水道がひかれ水くみに集まって来た子供たち。

セネガル/家畜用水飲み場も地方水道計画の一環である。

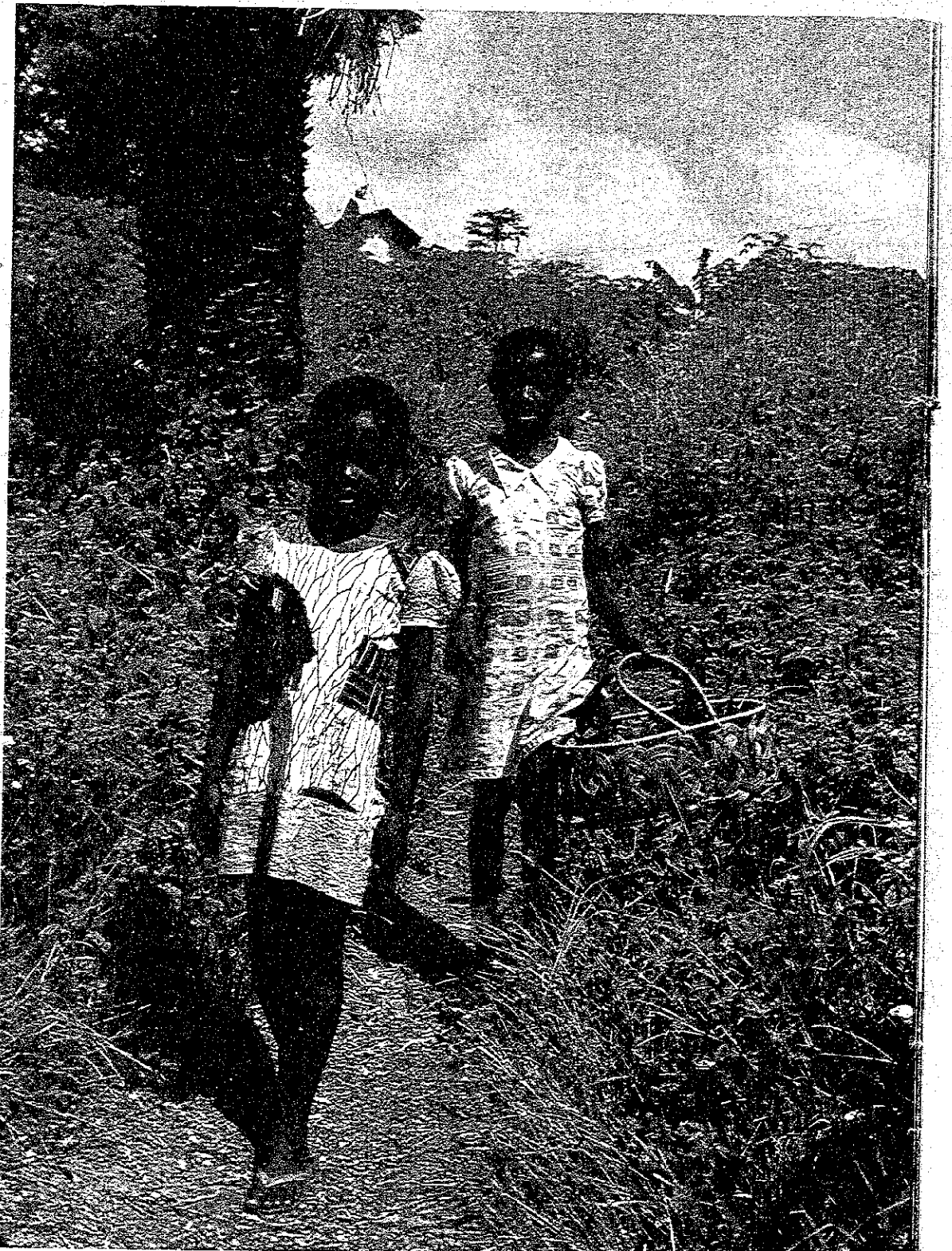


(無償資金協力)
セネガル・地方水道計画/日本の協力で
建てられた高架水槽。



ガーナの少女たち。

ガーナ大学医療協力プロジェクトのフィールドであるフェテ村で診療にあたる専門家。



(プロジェクト方式技術協力・無償資金協力)

ガーナ・ガーナ大学医学部／わが国は昭和43年からウイルス学と電子顕微鏡学部門への協力を行ったのをはじめとして、現在まで4次にわたって技術協力している。昭和52、53年度に、無償資金協力で同医学部の付属病院として野口記念研究所が設立された。

野口記念研究所でマラリア原虫の検査をする専門家。

ガーナ大学医学部付属病院内には黄熱病の研究途中でガーナで死去した野口英世博士の偉業を偲んで銅像が建てられている。

